

第13回デメンシアカンファレンスを開催

2016年4月19日

4月19日(火)に金沢医科大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)「第13回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構北陸病院、石川県立高松病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の8施設が参加しました。

「発症3年前の抗コリン性頻尿改善薬投与により一過性の高次脳機能障害を認めた認知症の一例」のタイトルで、金沢医科大学神経内科学からの症例報告が進められ、第13回目のデメンシアカンファレンスは、金沢医科大学と各施設間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



金沢医科大学からの症例報告の様子



各施設間での質疑応答の様子

第13回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『発症3年前の抗コリン性頻尿改善薬投与により一過性の高次脳機能障害を認めた認知症の一例』

発表者：河合宇吉郎（金沢医科大学 神経内科学）

司会：長山 成美（金沢医科大学 神経内科学）

【要旨】

症例は79歳男性。主訴は物忘れ。既往歴に胆嚢炎（40歳時）、42歳より高血圧、50歳より心房細動と脂質異常症で加療中であった。

75歳時、右片麻痺を発症、左レンズ核線条体動脈領域の脳梗塞と判明し、入院加療で通常の生活が可能でADLにまで改善した。その後の外来診療では、ワーファリン、抗不整脈薬、降圧薬投与を中心に十分な管理がされていたが、79歳時、患者の妻から最近物忘れがひどいという指摘があった。通常の計算を全くできないなどの症状が亜急性に出現していたことから、血管性認知症の発症を疑って頭部MRI検査を行ったところ、陈旧性脳梗塞巣を左半卵円から被殻にかけて認めるものの、新たな虚血性あるいは出血性病変の出現はなかった。左の海馬は軽度に萎縮していたが、脳血流シンチグラフィでは有意な血流低下を指摘できなかった。このため、薬剤による脳機能低下の可能性を検討したところ、泌尿器科から頻尿に対して9ヶ月前から抗コリン作用のあるプロピペリンが投与されていたことが判明した。認知症誘発の可能性指摘により、末梢のムスカリン受容体に選択性が高いソリフェナシンに切り替えられたが、むしろ衣服を逆さまに着るなどの症状が目立つようになった。当時の長谷川式認知症スケール（HDS-R）は8点であった。直ちに頻尿改善薬の中止を要請し経過観察をしたところ、約2ヶ月後には元に復した。1年半後の81歳時、再び物忘れの症状が出現したため施行したHDS-Rは16点であった。この時点でも頭部MRI所見は79歳時と変化なかったが、脳血流シンチグラフィでは右側頭頭頂葉の血流が低下していた。塩酸ドネペジルの内服開始により3年間、HDS-Rは12-13点を維持していたが、その後徐々に低下した。4年後の88歳時の頭部MRIでは両側の海馬萎縮が明らかになり、HDS-Rは4点であった。

【質問・意見】

質問：元来認知機能の低下があった患者に投与された抗コリン性頻尿改善薬が、一過性にせよ、より明らかな認知機能障害をもたらしたと考えているのか？

回答：日常的には認知機能障害が明らかではない正常ないしMCIの患者に対して投与された末梢作用性の抗コリン性作動薬が、臨床的に明らかな程度にまで高次脳機能低下をもたらしたと考えている。日常診療で起こり得る副作用として紹介した。

コメント：稀な副作用が出現した要因として、本患者に合併する慢性腎不全の要因が関与していないかどうか、検討すべきである。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

第13回

デメンシアカンファレンス

【タイトル】

発症3年前の抗コリン性頻尿改善薬投与により 一過性の高次脳機能障害を認めた認知症の一例

日時：2016年4月19日(火)18:30～20:00

担当：金沢医科大学 神経内科学

対象：参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生を含む)



【会場】認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所

- ・金沢大学（医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室）
- ・富山大学（附属病院2階カンファレンスルーム2）
- ・福井大学（院生棟4階セミナー室）
- ・金沢医科大学（基礎研究棟3階大学院セミナー室）
- ・国立病院機構医王病院（臨床研究棟会議室）
- ・石川県立高松病院（医局会議室）
- ・国立病院機構北陸病院（特殊診療棟2階小会議室）
- ・谷野呉山病院（共通棟1階ミーティング室）
- ・魚津緑ヶ丘病院（5階会議室）
- ・福井県立すこやかシルバー病院（管理棟2階応接室）

申し込み不要 出席者は受付で出席簿に記入し、教育コース履修者は
本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。

*お問い合わせ先 北陸認プロ運営事務局
〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL 076-265-2149
FAX 076-234-4208
E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL <http://ninpro.jp/>